

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

# 鮎

4

APRIL  
1997



ズーム 魚食普及をめざして頑張っています！

No.486



## 季節の香

かおり

### 【辛夷／コブシ】

サクラ前線に先立ち、北へ北へと春の先駆けをととめるのがコブシである。山の斜面にポツポツと大きな花は、かなり人の目を引く。どの花にも、行けば必ずお目にかかれる場所があるが、野生のコブシは有馬に行けば会える。

暮れかけた薄暗さの中でも、その白色は小鳥の群がりに見えて壮観だ。東北地方ではタウチザクラと言う。田打ちする頃に開花するからだろうが、農作業と結んで里の生活に溶け込んだ花である。宮沢賢治の童話にヒキザクラの名で登場するのもコブシの方言名だ。

白い花は散り際には薄汚れている。雨に遭うと、なお惨めな姿となる。コブシの花は晴れているうちに眺めるべきだ。この花が咲く早春は、ほのぼのと気持ち明るくなる。

# COLUMN

## 一鉢の花づくり

◆春といえば花を連想する。陽射しの中で爛漫と咲く花鳥が思い浮かぶ。冬の寒さに抑えられていた反動と春を恋う気持ちが花を求めさせるのだから、季節に先駆け植木市が大盛況である。一鉢の福寿草がどんなにか心を豊かに潤してくれる。花を眺めて怒りを感じる人はいないだろう。

◆小学校では一鉢のアサガオやヒマワリを育てるのを授業に取り入れている。休日にも交代で水やりをする。花を慈しみ育てる事で優しい心を育み、他を思いやる社会

性の眼が養えるならば、これに勝る教育はあるまい。優しく他を思う気持ちがあるまゝ、優しく他を思ふ問題は外となる筈である。

◆鉢花を上手に育てるには、草の特性を考へての施肥や水やりも大切だが、植え替えや剪定などの小さな気配りも必要である。一年草は花が終れば自然に枯れるが、多年草や樹木類は根を伸ばして大きくならうとするから、狭い部屋に荷物が増えた状態になる。根詰まりを起こすのである。こんな時はスッポリと抜いて少し大き目の鉢へ移し、根際へ新しい土を入れる。これで根は活動を続け、枝葉

は色艶をとり戻し元気に生長することが出来る。

◆草や樹を育てるのは、子供を養育するのと同じである。放任しても過保護にしても後日に問題を残す。時折はハッサリと枝を切り落としたり、根元を切り結めることが必要である。伸び放題は体裁を悪くするし花をつけなくなる。肥料切れは艶を失わせ、栄養過多もマイナス要因となり枯死につながる。健やかに育てるには、絶えず心にかけてやる濃やかな情愛が大切であり、物言わぬ子供は特に目が離せないのである。(遊方子)

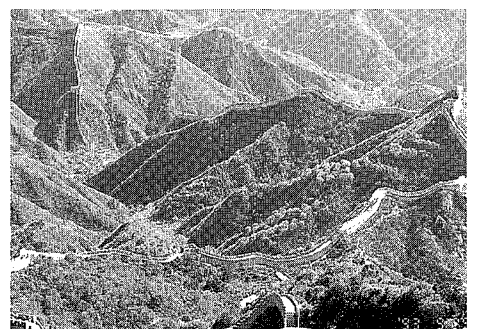
万里の長城にて  
その長大さに驚かされる。尾根伝いに  
続いていると思うと急に谷に落ち込み、  
また山頂へと伸び上がって行く。どこま  
でも延々と続き、果て知れずという感じ  
がする。渤海から二千七百余キロの世界  
最長の城壁である。

尾根から尾根へと、うねっている形は  
巨大な龍の背を見る思いがする。大勢の  
人と膨大な資材が投入されて出来上がった  
もの。北方からの侵入に備えたという  
が、そのエネルギーは尋常ではない。何  
をそんなに齎したのか…。

要塞は自己防衛のため、防衛本能が生  
み出したものだ。実際にどれだけ役立っ  
たかは知らないが、今は貴重な観光資源  
となっている。長い要塞は、緑の山を縫  
う長い長い廊下でもある。

## フォト歳時記

表紙写真  
山岡 ヨリ子さん  
〈淡路水交会〉



## 拓水

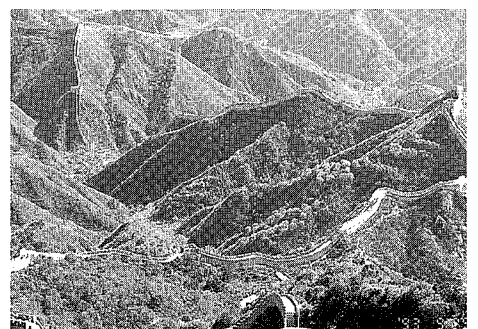
APRIL

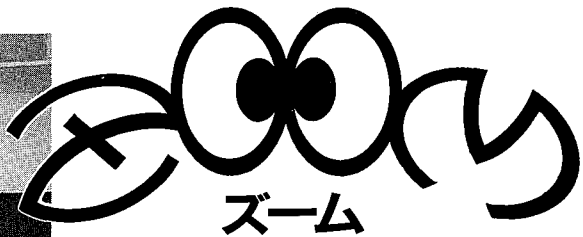
CONTENTS

季節の香	2
辛夷/コブシ	
COLUMN	3
一鉢の花づくり	
ズーム	4
魚食普及をめざして頑張っています！ 県漁連指導部	
TOPICS	5
平成8年度「第19回」全国海の子絵画展にて 文部大臣奨励賞を受賞！	
水試ノート	6
イカナゴの生態からみた終漁日の推定	
栽培漁業センターです 普及員だより	7
漁協婦人部が起業や地域おこしに大活躍 (山口県の漁協婦人部の事例紹介)	
漁海況情報 海区漁業調整だより	8
旬の美味い話	9
イワシのつくね甘酢味	
兵庫JCC通信	
農業・食文化の大切さを再確認 ～JAあぐりセミナーを開催～ 日本生協連97全国政策討論集会 -大胆な「連帯」構造の構築を訴え	
TAKUSUI promenade	10
ぶらり探訪	玄武洞
WHAT'S NOW	変身・舞妓!!
巻末 essay	11
税について考える	
こちら海ですロケだより	
お魚…面白辞典 ～兵庫県・神戸市より～	

## 今月の表紙

### フォトギャラリー





ズーム

# 魚食普及をめぐって 頑張っています！

## 県漁連指導部

### 【料理教室】

県漁連では、栄養豊  
かで美味しい魚を少し

でも多くの方に食べて戴きたいと、料理  
教室を開催していますが、今年も、県下  
に広く活躍されている「いずみ会」の皆  
さんを対象に、青背の魚サバとアジを使っ

た料理を紹介し、サバ丼とシメサ  
バの作り方を実習しながら、その  
栄養価の説明や美味しい食べ方を  
皆さんと一緒に考えてきました。

十一月二十九日の村岡町民センター  
を皮切りに二月二十八日の加西保  
健所での料理教室まで十二回に互っ  
て開催しました。「いずみ会」の皆さ  
んが熱心に取り組んでおられて、

こちら一も一生懸命になりました」  
とは担当職員の感想です。サバは  
生き腐れという程に鮮度が大切で  
すが、冷凍技術の進んだ今は、解  
凍さえうまく出来れば新鮮さは抜  
群のものが手に入ります。あとは、  
自分の力量に応じた料理をするだ  
けのことです。参加者の方々はそ  
れぞれが魚の捌き方から、調理・

去る一月二十一日（金）農業共済会館  
において「ひょうごのさかなと健康」と  
いうテーマで講演会を開催しました。大  
日本水産会の佐多逸郎氏を講師に迎え、  
さかなの特性と栄養価・健康への影響な  
どについて講演をいただいた。今話題の  
DHA・タウリンの健康面への効果など  
を、スライドを使って解説され分かり易  
かったと好評でした。D誰でも・日本当  
に・Aあたまが良くなる。DHAには血

### 【講演会】

味付け・盛り付けと良く考えて作って  
おられました。料理した後には、あれこれと  
批評しながら自分らの作品を味わうのも  
楽しみのものでした。



包丁さばきに注目しながら...

液中のコレステロールを減らし、血栓を  
作りにくくする作用があり、また頭を良  
くすることがネズミを使っての実験で証  
明されたことや老人性痴呆症に効果があ  
ることなどの話しは、多くの人の興味を  
誘ったようでした。この講演会には百二  
十名ほどの方が参加されましたが、会  
場で回収したアンケートでは「魚を見直  
しました／もっと魚を食べます」という  
意見が多くありました。また、兵庫県の  
漁業について広く知って戴くために、ビ  
デオ「人・海・ふれあい／ひょうごの漁  
業」を上映し、瀬戸内海と日本海の漁業  
の現状を理解して貰い、水産資源の大切  
さをも考えて戴きました。



「ひょうごのさかなと健康」講演会の様子

平成八年度「第十九回」  
 全国海の子絵画展にて  
 文部大臣奨励賞を受賞！  
 西淡町立丸山小学校三年  
 仲尾愛美さん



文部大臣奨励賞を受けた丸山小3年  
 仲尾愛美さん(右端)とご家族の皆さん

昨年十二月に県漁連において実施した兵庫海の子絵画展のことは二月号で既報いたしました。選定した十点の作品を「平成八年度全国海の子絵画展」に出展しましたところ、去る一月十七日に開催された同展審査会において、丸山小学校三年仲尾愛美さんの「ふしぎな海のいきもの」が特別賞の文部大臣奨励賞に選ばれました。

この「ふしぎな海のいきもの」は、青い海をバックに歓声を上げながら、不思議な生き物を見ている子供らを色鮮やかに描き、中央の曲がった形の生き物には細く切った布地とボタンを貼りつけるなどの工夫をし、苦心して仕上げたことが分かる印象的な作品となっています。県漁連の予選会でも、ちょっと変わった趣向で面白いと評判になった作品でした。

県漁連から出展した作品が文部大臣奨励賞を受けるのは初めてのことです。通知を受けた作者の仲尾愛美さんも「わたしはそんな大きな賞をもらったのは初めてで、とてもうれしいです。自分で自分をほめたいです」と大変に喜んでおられました。また、出展したすべての作品に全漁連会長賞が贈られます。

海の生き物を愛し、漁業に関心を持っていただけることは、われわれ漁業者にとって本当に有り難いことであり、素晴らしい作品を描いて下さった子供たち、ご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。なお表彰式は三月二十八日(金)に東京において行われます。

第十九回全国海の子絵画展に入賞の方々  
 (敬称略)

文部大臣奨励賞/全漁連会長賞

西淡町立丸山小学校三年 仲尾 愛美

全漁連会長賞

東浦町立学習小学校一年 保宗 佑佳



「ふしぎな海のいきもの」

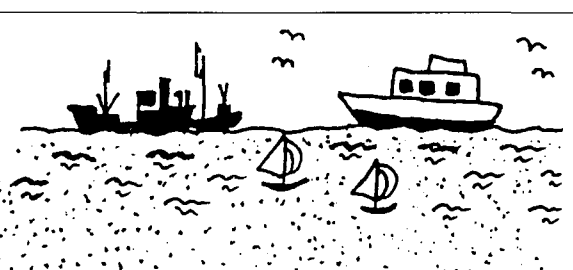
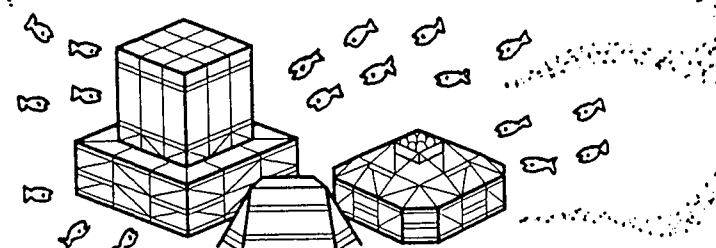
漁船海難遺児育英会  
 募金状況【8年12月まで】

- |      |        |         |
|------|--------|---------|
| 8年6月 | 津居山港漁協 | 島崎 邦雄 様 |
| 10月  | 津居山港漁協 | 磯崎 積雄 様 |
| 10月  | 津居山港漁協 | 木下 拓治 様 |
| 12月  | 大阪千日前  | 徳 家 様   |

☆善意をありがとうございました☆

- |             |       |
|-------------|-------|
| 南淡町立福良小学校一年 | 坂口 朱香 |
| 東浦町立学習小学校二年 | 合田 圭佑 |
| 豊岡市立港東小学校二年 | 橋岡 賢司 |
| 御津町立室津小学校四年 | 上田 仁美 |
| 御津町立室津小学校五年 | 室山 祥美 |
| 家島町立家島小学校五年 | 西古 梨恵 |
| 南淡町立福良小学校六年 | 泊 勇希  |
| 豊岡市立港中学校三年  | 田原真依子 |

躍動する海 活動する 神鋼製魚礁



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660 兵庫県尼崎市丸島町46番地  
 TEL (06)418-3797 FAX (06)418-2423

### イカナゴの生態からみた

### 終漁日の推定

鹿の瀬はイカナゴの夏眠場として知られていますが、近年その生息密度が減少しています。(図1)特に平成八年産のシンコの親は少なく、中でも一才魚の少なさは将来の資源に悪影響を与えるのではないかと考えられました。

イカナゴの資源管理の大きな柱の一つに、適正な親を残すための終漁日(網上げ日)の設定があります。平成八年四月に、播磨灘船曳き協議会で終漁日の話し合いが行われましたが、その場で鹿の瀬における親の現状と計算に基づく終漁日

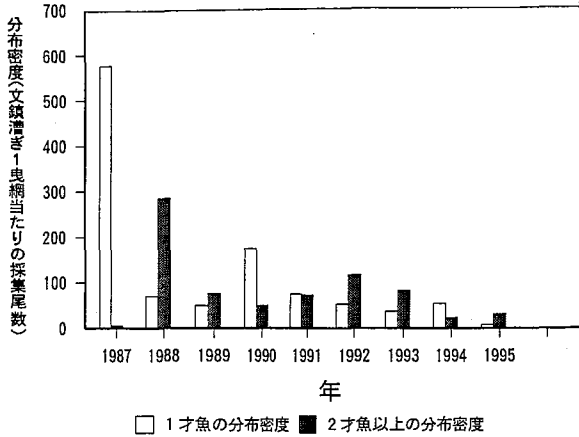


図1 鹿の瀬における親魚密度の経年変化

表1 文鎮漕ぎ1曳網当たりのイカナゴ採集尾数(鹿の瀬)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1995年	2	3	5	7	3	22	44
1996年	453	434	150	984	688	799	790

今回の協議会では大阪湾を漁場とする淡路町の漁獲状況から終漁日を推定しましたが、通常大阪湾が終漁しても播磨灘では、まだ漁業は行われており、その漁獲量もかなり多いようです。平成八年はその傾向が顕著に見られています(図2)。図2によりますと、四月上旬淡路町は、ほぼ終漁しているのにもかかわらず、播磨灘を漁場とする育波浦では、逆に急激に一日一隻当たりの漁獲量が増えています。これは、播磨灘に新たに魚群が来遊してきたことによると推定されます。もう一度図2を見て下さい。大阪湾の漁獲が三月中旬から急激

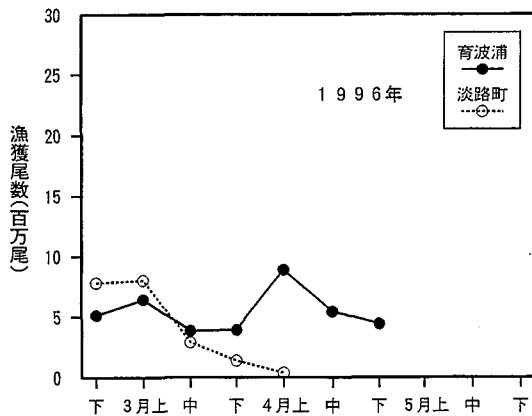


図2 淡路町と育波浦の1日1隻当たり漁獲尾数の旬別変化

を提案し、協議会と話し合いをしました。その結果、平成八年は四月二十七日が終漁日となりました。これは、平年と比べてかなり早く、出席された皆さんの「親を残す」ための強い意志が感じられました。この結果、鹿の瀬におけるイカナゴは、表1に示しましたように、平成七年(平成八年産の親)と比べて非常に多く分布していました。

この漁船は二月下旬から三月下旬まで、播磨灘・大阪湾の両海域で操業していますが、四月上旬以降播磨灘だけの操業となっています。また、四月上旬以降、操業回数は減少しているにもかかわらず、一日あたりの漁獲籠数は増加しています。これは魚体が大きくなっているため籠数が増加していることもありましたが、魚群が特定の海域に集まり、漁獲されやすくなっていることが最も大きい原因ではないかと思われまます。

イカナゴは網下ろしの頃は兵庫県内海の全域に分布していますが、四月上旬頃より夏眠のため、その多くが播磨灘鹿の瀬周辺海域に帰ってくるのではないかと推定されます。イカナゴの夏眠場は、大阪湾沖の瀬、備讃瀬戸等、他にも認められていますが、沖の瀬と鹿の瀬の夏眠密度を比較すると、表2に示したように、鹿の瀬の方が圧倒的に多いことが判ります。このことから、大阪湾から播磨灘へのイカナゴの回帰が考えられます。平成八年は淡路町の漁獲動向から終漁日を推定しましたが、今後は以上のようなイカナゴの生態から終漁日を推定したいと考えています。

表2 文鎮漕ぎ1曳網当たりのイカナゴ採集尾数の比較

	10月	11月
沖の瀬	3	2
鹿の瀬	688	799

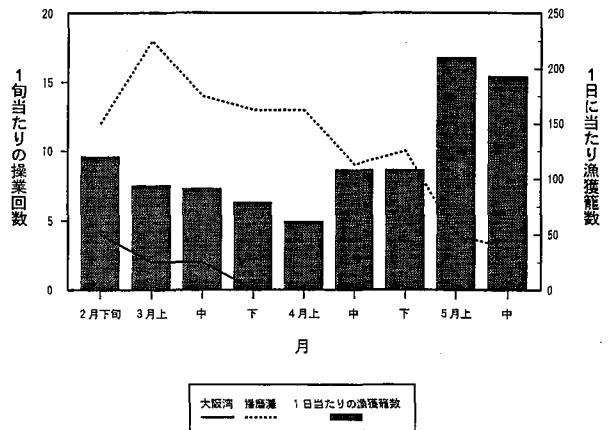
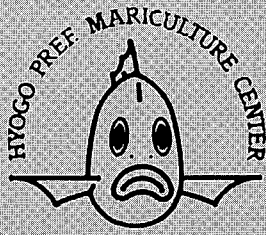


図3 標本船の操業海域と1日当たりの漁獲籠数の変化

(資源部 玉木 哲也)



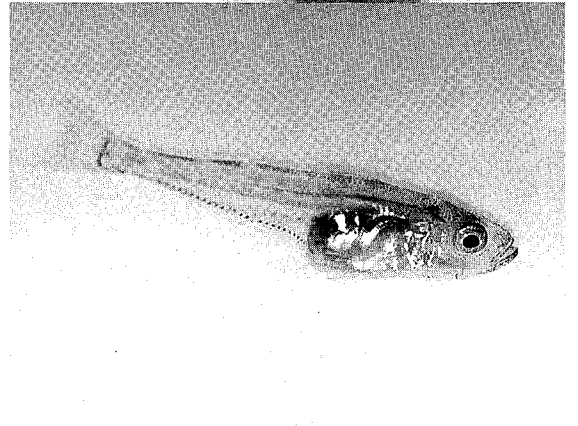
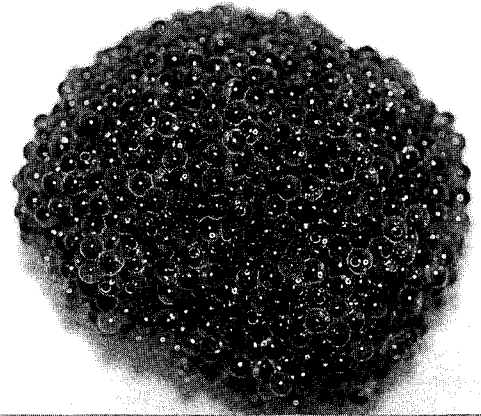
# 栽培漁業センターです

# 103

三月に入り淡路島近海ではイカナゴ漁の最盛期を迎え、港は、イカナゴを満載した運搬船やそれを待ち受ける加工業者のトラックで活気ついでいます。さて、津名事業場では予定していたよりも遅れてヒラメの生産試験がようやく始まりました。現在、孵化したての仔魚（全長約三ミリ）を飼育しています。まだ口も開いていない状態で弱々しいのですが、あと五日もすれば動物プランクトンであるワムシを食べるようになり、その後は日に日に大きくなっていくことと思っています。六月の声を聞く頃には全長も五センチを超え、淡路島の東部の海岸付近に放流され元気に泳ぎ回っている事と思います。

ところで、二見の栽培漁業センターでは、一月から生産しているマコガレイが全長十七・三ミリまで成長し、十五万尾の稚魚達が三月十一日の出荷を待っています。これからの予定としては三月十日よりヒラメの卵が採れだし、二十四日から生産を開始する予定です。但馬栽培漁業センターでは、試験魚種であるハタハタの生産が始まりました。ハタハタは東北地方の太平洋および山陰地方から北海道の日本海に分布し、水深二百から四百メートルの砂泥底に生息していて、泥の中に潜る習性があり、十一月から十二月にかけて水深二から十メートルぐらゐの藻場にき

て産卵します。ハタハタの産卵地としては秋田県の男鹿半島周辺が知られており、秋田県栽培漁業センターでは定置網で漁獲した親魚から人工受精によって卵を得ています。受精後の卵はフニャフニャですが海水を卵に含ませると卵は硬くなり卵塊と呼ばれる塊になります。これを藻の代わりにロープに付着させ海水中に沈めておくと、二・三週間で発眼します。但馬栽培漁業センターでは、この発眼卵を秋田県栽培漁業センターより譲り受け試験生産を行っています。



ハタハタの受精卵（直径：約3mm）と稚魚（日令：20日、全長：約18mm）

ます。現在、孵化後二十日で全長十八ミリ、九千尾を飼育しています。ヒラメについては一回次の生産が全長十三ミリ、五十万尾、二回次が全長九ミリ、五十万尾と順調に成長しています。これから海では魚たちの繁殖の時期に入り、それにもない栽培センターも忙しくなります。次稿でご報告したいと思います。

乞うご期待！。

（兵裁協 吉川 孝司）

が主役となり、自立した活動が進んでいます。中でも山口県は、いち早く女性起業家達のネットワークができ、大きな輪を作っています。その中で、漁協婦人部が起業を行っている事例を紹介します。

(1) 海と山に囲まれた阿武郡須生町に海産物加工場を兼ねた直売の店“ジョイフルセンター須佐”がオープン。須佐で獲れた新鮮な魚をもっと多くの人に食べてほしいと婦人部代表8人で起業されました。加工場等施設は漁協と町の援助で始まりましたが、器具や設備、加工技術やPR活動など全て企画は仲間達で進めています。報酬は日給制です。店内はセンスあふれるインテリアで飾られ、婦人部の新鮮な加工品や手作りの手工芸品等が輝いていました。感心したのは、活動の中心となっている若妻会代表の川口さんの熱意です。“こころ”を売る戦略は一度出会うと忘れられない人になっ

てしまいます。

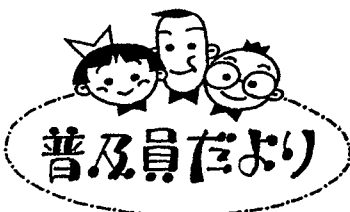
(2) 萩越ヶ浜漁協婦人部の経営する“つばきの館”は萩市の近くですが椿の群生地として有名な所です。

ここでは婦人部が地元越ヶ浜で獲れた新鮮な海産物を使った素朴な味の郷土料理を観光客に提供しています。

これも建物は、事業を利用したのですが、運営は婦人部から希望者を募り15名で支え合い、創意工夫を凝らして運営しています。ここもすばらしい婦人部長のリーダーシップが印象的でした。

いずれも、目標をもった婦人部のいきいきとした取り組みでした。女性の時代というかけ声に躍らされることなく意欲と行動と、責任をもった婦人部活動を目指したいと思います。

県立中央農業技術センター  
専門技術員 谷本 留美



## 漁協婦人部が起業活動 や地域おこしに大活躍

（山口県の漁協婦人部の事例紹介）

昨年の秋、兵庫県の婦人農漁業士会の県外研修として山口県の漁協婦人部活動を視察しました。

全国的に女性起業が注目され、農村でも、都市でもそして漁村においても盛んに女性達

# 漁海況情報

海況 第903号  
漁況 第902号

兵庫県立水産試験場

## 海況

△概況▽ 播磨灘の水温は、低水温だった昨年と比べると0・8℃高くなっており、平年並の値を示している。塩分は昨年ほど高くないが、表層、中層、底層とも先月より上昇し、平年よりやや高い値を示している。透明度は、家島群島南部で高い値を示しているが、灘全体の平均値では平年並となっている。大型珪藻のコスキノデイスカスは、ほとんど認められなくなったが、灘全域で小型珪藻類が多く発生しており、栄養塩類は枯渇している。

△水温▽ 播磨灘10m層の十五点平均値は八・四℃で、平年並となっている。明石海峡では二月二十三日にこの冬最低の八・〇℃となり、その後はゆるやかに上昇している。二月の大阪湾西部では九・四℃、紀伊水道北部では十・三℃と、いずれも平年並の範囲にあった。

△透明度▽ 播磨灘の十五点平均値は八・三mmで、昨年よりも一・一mm高く、平年並となっている。家島群島の南部には10m以上の水域がみられるが、北部沿岸海域では、五〜六m程度まで低下している。二月の大

阪湾西部では六・五m、紀伊水道北部では

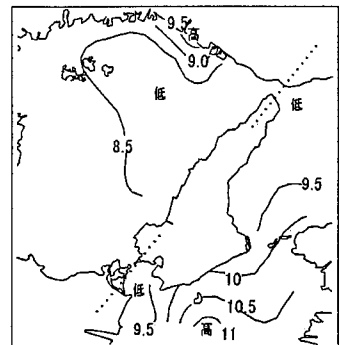
八・一mと、いずれも平年並の範囲にあった。  
△プランクトン▽ 播磨灘では、小型珪藻のレプトシリダラスやユーカンピア等が多く発生している。二月の大阪湾西部では、ユーカンピアの群体やノクテルカが多く発生していた。紀伊水道北部でもユーカンピアの群体が認められた。

△栄養塩▽ 播磨灘のほぼ全域で溶存態無機窒素濃度が、 $2\mu\text{g}/\ell$ 、リン濃度が $0\cdot3\mu\text{g}/\ell$ をそれぞれ下回っており、平年に比べてやや低い濃度となっている。珪藻の増殖に必要なケイ酸の濃度も平年に比べやや低くなっている。

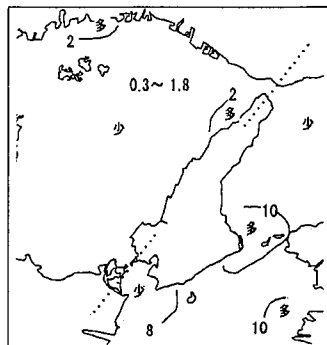
漁況  
△小型底曳網▽ 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漕)では、イイダコ、シャコ、メイタガレイが主に漁獲されている。紀伊水道北部では、ウマズラハギが主として漁獲されている。

△一本釣・曳縄釣▽ 明石海峡及びその周辺海域では、シロギス、マコガレイが漁獲されている。紀伊水道北部では、メバル、ウマズラハギが漁獲されている。

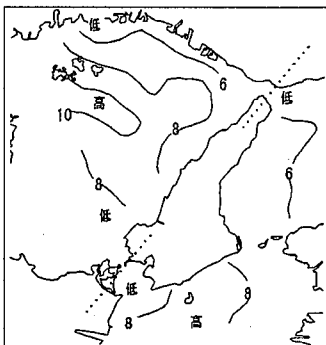
水温(表層水、℃)



窒素濃度(μg/ℓ)



透明度(m)



水温、窒素濃度および透明度の水平分布(大阪湾および紀伊水道のデータは平成九年二月十二・十三日調査分)

## 海区漁業調整委員会だより

二月十九日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を兵庫中央労働センターで開催

委員協議会

一、播磨灘及び小豆島北部海域における網口開板及び戦車マンガ漁業協定書について

当海区、香川海区及び岡山海区との間で毎年更新している播磨灘及び小豆島北部海域における網口開板及び戦車マンガ漁業協定について協議を行い、昨年と同じ内容で協定する方針を決定した。

二、イカナゴの漁況予報について

一月上旬の第一次稚仔調査及び二月上旬の第二次稚仔調査の結果、播磨灘及び大阪湾のシンコ漁については「不漁であった一昨年、昨年を上回り、平年並みと予測される。漁期は昨年より長くなる可能性がある。」、紀伊水道については「漁獲は昨年を上回る可能性が大きい。」と、水産試験場より報告が行われた。

三、資源培養管理型漁業の推進について  
資源培養管理型漁業の概要、資源管理型漁業推進事業の内容及び兵庫県瀬戸内海での取り組みについて、水産試験場より説明が行われた。

四、大阪湾における板びき網漁業の制限条件について  
大阪湾における板びき網漁業許可の「日没から日の出まで操業してはならない」という制限条件に関して、大阪湾における板びき網漁業許可の経緯、大阪湾における小型底びき網漁業の許可状況及び瀬戸内海における網口開板の使用禁止の解除海域について事務局より説明を行い、そ

の後、委員間で協議を行った。その結果、他府県との関係もあり、時間がかかるかもしれないが、冬期間だけでも時間制限にできないか、水産庁及び関係府県と調整を図ってほしいとの意見が出された。

五、個人情報保護に関する条例施行規程について  
個人情報保護に関する条例の概要、他府県の状況及び個人情報の保護に関する条例施行規程制定に向けての方針について事務局より説明を行い、個人情報の保護に関する条例施行規程について来月の委員会で審議することを確認した。

二月二十五日  
但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一、小型いかつり漁業(県外船)の許認可取扱方針について  
当該方針案について水産課から説明がなされ、現行方針を踏襲する形で来月諮問がなされることになった。

二、個人情報保護に関する条例について  
当該条例が四月一日から施行されることに伴い、委員会としてその施行規程の制定や処務規程一部改正等をする必要があることから、条例並びに関連規程案等について説明があり、三月委員会で正式に審議されることになった。

三、全漁調連日本海ブロック会議への提案議題の取扱いについて  
平成九年一月に開催された全漁調連役員会で当海区提案分の要望事項が審議され、今後の検討課題という理由で平成九年度要望事項にならなかった旨を報告。

四、ロシアタンカー重油流出事故対策のその後の取り組みについて  
一月委員会で報告がなされた後の当該取り組み状況について水産課から報告がなされた。



◆材料・分量◆

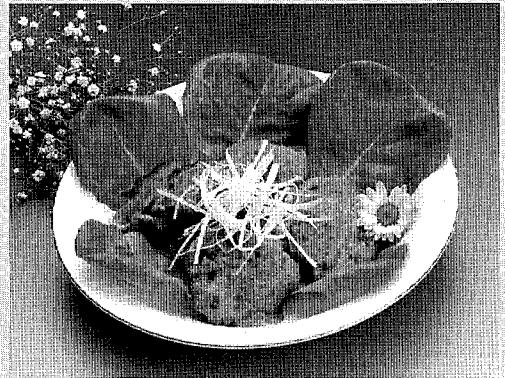
イワシ……………200g  
 玉ねぎ……………½個  
 丸三度豆……………100g  
 生姜……………10g  
 小麦粉……………50g  
 サラダ油……………大さじ3

卵……………1個  
 レタス、白ねぎ……………適量  
 塩、こしょう……………各少々  
 (調味料)  
 醤油……………大さじ3  
 砂糖……………大さじ3  
 酢……………大さじ3  
 トマトケチャップ……………大さじ1

▼作り方▲

- ①イワシは、頭と内臓を取って水洗いし、手開きで中骨と皮を取る。
- ②玉ねぎ、生姜は荒切りにして①とともにフードカッターに入れ、すり身を作る。
- ③卵、小麦粉、塩、こしょうを②に入れ、数分まわしてボールに取り出す。
- ④丸三度豆は塩ゆでにして小口切りにし、③に入れて混ぜ丸める。
- ⑤フライパンにサラダ油を入れ、丸めたつくねを両面焼目が付くまで焼き、調味料を合わせてフライパンに入れてからませる。
- ⑥器にレタスを敷きつくねをのせ、天盛りに白髪ねぎをのせる。

●イワシのつくね甘酢味●

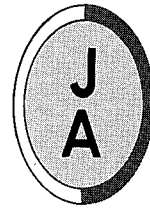


淡路町漁協婦人部

旬の美味い話 ⑤0



兵庫JCC通信  
 今、JA・生協では



日本生協連97全国政策討論集会  
 -大胆な「連帯」構造の構築を訴え



内館辰・日本生協連専務理事の基調報告

日本生協連の97全国政策討論集会が、一月十六、十七日の両日、東京で開催されました。内館辰・日本生協連専務理事は、基調報告で、転換期にある日本の生協運動が極めて厳しい現状にある、と指摘し、コープこうべのように過去の

の変革期を生き抜いてきた生協がある一方、多くの生協が対応できずに衰退したとのべ、今「新しい価値創造」が求められている、と訴えました。今後の課題として、①組合員の食糧費の過半の供給を確保する「食」のリーダーシップを確立すること。②環境・健康など社会的活動を強化すること。③組合員参加の開かれた組合員組織を創ること、の三点をあげ、さらに緊急対策として経営基盤の確立を訴えました。

そして、事業連帯についても、五年間の経験を総括して、連帯の中心的生協も参加する単協も経済的メリットがあるところが成功しているとし、この教訓をもとに、首都圏と近畿圏を中心に一兆円の見通しを持てる協力関係が築ける組織の構築が主要な課題だ、と指摘しました。

この内館報告に先立ち、田中尚四・副会長は、国際協同組合原則の改訂、生協経営の停滞と転換期にあって役員・組合員が共有できるための「生協二十一世紀理念・ビジョン」の検討のまとめを報告し、会員の論議を経て、六月の総会に諮ることを報告しました。

農業・食文化の大切さを再確認  
 ~JAあぐりセミナーを開催~

JA兵庫中央会では、農業理解を深めてもらおうと、毎年、農業を考えるシンポジウムやセミナーなどを開いています。

さる一月二十四日に、神戸市中央区の神戸シーガルホールにて、約四百五十人の参加者のもと「日本の農業と歴史と文化、未来を見つめ直してもらおう」と「JAあぐりセミナー」生活や環境を食料・農業を通じて考える」を開催しました。

今年はオープニングコンサートとして、弦楽四重奏・アモレカルテットによるコンサートでスタート。JAセミナーにふさわしい「日本の四季」をテーマにさわやかな演奏を披露し、会場の参加者はうっとりとした聴き入っていました。

つぎに、アメリカ・カリフォルニア出身で、マルチタレントのダニエル・カール氏による、講演「ダニエルのふるさと自慢」が行われました。ダニエルさんは、高校時代から日本に留学



ふるさとの大切さを話す  
 ダニエル・カールさん

し、全国各地の文化を経験。日本の自然・環境を育んでいる農業・食文化の大切さについて、ユーモアをたっぷり交えて話し、日本人にとってのふるさと・農村を大切にしようと呼びかけました。

参加者のみなさんは「ダニエルさんは外国人でありながら、日本のことを私達以上に良く知っていますね」と感心しつつ、農業の重要性をあらためて認識することができたようです。

●このコーナーは拓水の遊歩道です。色んな情報の発信源として生活の話題提供を目指します。どうかご愛読をお願いいたします。

## WHAT'S NOW

### 変身・舞妓 !!

京都を訪れる観光客に舞妓さんの衣装を着せ化粧を施す「変身舞妓」は、10数年前から京都市内のホテルが始め、ここ2・3年で爆発的な人気!!今では20数業者が手掛け、着付けと写真撮影で5,000~15,000円が相場だ。実際の舞妓さんとは着物も化粧も異なるのだが、本物と間違われぬように、にわか舞妓の外出は禁止のところもある。にわか舞妓の余りにもお下品さに、本物の舞妓さんや芸妓さんを抱える「お茶屋さん」から苦情が出たためだ。

でも、折角の晴れ姿、屋内撮影だけでは勿体ない。足袋を履き、肌着と長襦袢姿で化粧し、髪をネットで固め、おしろいを背中と顔、首に塗ってもらう。目元と口元に紅で終了。実際の自分とは違う自分にドキドキワクワク。女性には何かしら変身願望があるのでしょうか。



(朝日新聞から一部抜粋)

## ぶらり探訪

# 玄武洞

豊岡市赤石

柱状節理の美しい眺めは、福井の東尋坊や香住町鐙の袖などのように普通は海岸べりですが、陸にあって真近に見られるのが玄武洞公園であります。六角形の石柱を何段も積み重ねて、それを数知れず並べて真つすぐに立ち上がらせた感じの大きな洞窟でした。天

の四方を守護するという神獣になどらえ玄武洞／青龍洞／白虎洞と朱雀は南朱雀洞と北朱雀洞があり全部で五つの洞窟が見られます。今は囲いの外から見上げるだけです。以前は洞穴状になっていて中に入ることも出来たと聞きました。

はるか昔、地球の生成期において、地下深くから吹き上がったマグマが地表近くで冷えて固まる時、中の方はゆっくりと動き上部は横へ急速に動くという現象が起きたことから、こんな形になったというのです。大きな渦は何個かに分裂し、互いに引き合って次第に六角形に均一される。さらに冷える時に、そこから熱が逃げようとして凹凸に柱の割れ目が出来たそうです。亀の甲を思わせる所から、玄武岩と呼ばれ洞窟の名前もこれに由来するのです。



玄武と言うのは亀の形をした神獣とか、そんな話をして公園の中にある「玄武洞ミュージアム」で教えてくれました。そして色んな鉱物標本が、地球の不思議な神秘を見せてくれるのです。くにやくにやして不思議なコンニャク石(イタコルマイト)や石の下に敷いた文字が透けて見えるユレキサイトという奇妙な石やキラキラ輝く宝石の数々が部屋いっぱい展示してあり興味が尽きず、博物好きには穴場な場があります。

山陰海岸国立公園の一角ですが有名な割には人影が少ない。やはり、岩石という堅くて地味なものだからでしょうか。人工臭の全くない自然界の偉大さに見惚れ、円山川のゆったりした流れを見ながら静けさの中に溶け込んで、しばし雑念を忘れることが出来ました。天然の驚異を目の辺りに見たい時には、この玄武洞公園は格好の場所だと思っただけではありません。渡し舟も情緒があつて良いですよ。

メモ

JR山陰本線玄武洞駅から渡し舟で約三分。年中無休。

AM八時三十分~PM六時。

# 税について考える

★新聞紙面の下五分の一にあたる部分がズバリ「記事下」で、その両脇へちょっと突き出たのを「突き出し」と呼ぶという。広告の話である。何気なく見ているが、紙面における広告は、その掲載位置によって随分と印象が違ってくる。当然、掲載料金にも差がある。その突き出しに『この社会、あなたの税が生まれている』とある。税を知る週間に出されたもので、小さく政府広報／国税庁の名があった。これも税金の一部が形を変えたものだろうが、小生の分も生きた使われ方をしていると信じていたい。



★税金というものは、誰もが大いに関心有るものの、忌ま忌ましい思いが先に立って、その本質について考え及ばぬのではないだろうか。もどかしい感じはするが、何故か諦めた気持ちで認めているのが普通ではないのか。英国のマグナカルタにしても、税というものが一つの契機となって起こり、国民の手で近代国家が形成されたという経緯がある。しかし、日本では明治維新の時ですえ、そうした事実はなかった。税とは搾取されるものであり、国から取り立てられるものだという感覚が底流にあるように思えてならないのである。

★税は取られるものか、納めるものなのか。この見解は人によって大いに分かれるところだろう。それは取られるものだと力説する人もいるが、法律に決められているから仕方なしに納めているんだと理解している人も少なくない。だが、それでは税の本質が分かっているとは言えない。租税を考える時には、その使途に注目すべきであるという。福祉にしろ教育や公共事業にしろ、すべて納税者への還元にあることに気づくべきである。税とは納める物だと納得しなきゃならないと、誰かに聞かされたように思う。

★どんな企業にも予算組みは重要なことである。どれだけ収入を目標むことが出来て、支出がどれほど発生するかを天秤にかけ、損失を出来るだけ少なく押さえる努力をする。どのような事業を行うにも、そのための費えは必要かつ重要である。

## 編集後記

- ◆春眠暁を覚えず。心地よげに丸まった形の猫は居眠りの天才なり。目いっぱい仕事をこなし、綿のように疲れた身を横たえる。眠れる幸せを噛み締める。
- ◆日本海の油濁汚染も地味なる努力の積み重ねで回復へ向かっている。夏までにケリがつくだろうか。
- ◆万里の長城。戦国の世の遺物なれど今は平和な観光の場。大勢の人が古えの偉大な力に圧倒される。

(遊)

て、皺寄せは納税者の肩にドツとしかかって来る。辛い事だけれども納めなければならぬのが、国民としての義務であり、生きていくための証でもあろう。

★何億もの脱税事件には腹立たしくなる。よくぞ摘発されたと、マルサの手腕に拍手を送りたいが、立場が変われば誰だってという思いも少なくない。所詮我も人の子なのか。難解で面倒な計算が要る法人税の仕組みも盲点になっているのではないか。もっと分かり易く、納め易い形態こそ望ましいように思うが無理なことか……。「広く・薄く」というのが課税の理想としても、納める側にすればどっちだって同じことで、筆り取られる意識は強いのである。世に「公平」なんてものは存在しないようにも思え、時に「お許し下さい、お代官サマ！」と縋りつきたい思いに駆られるのである。

(遊方子)

